

JICA による NGO 支援事業:各研修プログラムの概要とこれまでの実績

1. 国際協力担当者のためのPCMを活用したプロジェクト運営基礎セミナー

草の根技術協力事業の担当者等を主なターゲットとし、PCM の概要及び基礎を紹介するもの（民間の開発コンサルタント等が行っている PCM 研修とは一部異なったオリジナルの内容のため、PCM 手法資格認定の対象外）。JICA 東京が主管し、各国内機関と協力しながら全国各地で展開している。

2014 年度は、全国 13 か所で計画・立案コース 15 回／モニタリング・評価コース 14 回の計 29 回実施した（各コース 2 日間）。2015 年度についても、計画・立案コース 15 回／モニタリング・評価コース 12 回を全国各地で実施中。

2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
91 人	128 人	244 人	338 人	357 人	308 人	376 人	416 人

2. NGO 向けアドバイザー派遣制度:NGO 組織強化のための国内アドバイザー派遣／NGO 活動強化のための海外アドバイザー派遣

専門分野の知見をもったアドバイザーを、NGO の日本国内の事務所或いは海外の活動現場に派遣し、当該団体が抱える課題解決に向けて、それぞれの状況に応じた必要な助言や指導を行うもの。1 回の派遣期間は最大 20 日間で、日本国内における組織強化として「経理・会計分野」、「広報・支援者拡大分野」、「組織運営・その他分野」に、海外における活動強化として「事業マネジメント分野」、「技術アドバイス分野」に対応している。なお、2013 年度より、派遣するアドバイザーの選定にかかる公平性と透明性の観点からその方法を公募化した。

※上段:国内派遣／下段:海外派遣

2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
23 件	17 件	23 件	22 件	28 件	13 件	10 件	10 件
16 件	10 件	1 件	6 件	4 件	6 件	3 件	3 件

3. 地域提案型NGO組織力アップ！研修（旧称・NGO人材育成研修 地域NGO提案型研修）

特に地域の NGO が抱える特有の課題等へ細やかに対応するため、一定の地域或いは全国規模のニーズを踏まえた、NGO の組織運営や活動にかかる共通課題の解決、能力強化に資する研修の企画提案をネットワーク型 NGO 等から受付け、協働で実施するもの。JICA 東京が主管し、必要に応じて各国内機関とも協力しながら全国各地で展開している。

2015 年度の実施に当たっては、4. 「組織力アップ！NGO 人材育成研修」との一本化を図るため名称を変更し、事業の公平性と透明性の観点から制度の一部を見直した。

2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
—	—	—	1 件	5 件	3 件 (58 名)	3 件 (61 名)	4 件 (62 名)

4. 組織力アップ！NGO人材育成研修（2013年度で終了）

NGO スタッフ自身の研修参加・取組みを通じて、当該団体の課題解決や機能強化を目指すものとして、「組織マネジメント」及び「プロジェクトマネジメント」の2コースを設定し、首都圏での集合型の研修と各団体の課題に応じたアクションプランの策定・実践をひとつのパッケージとして通年で行ってきた。

2010 年度をピークに受講者の減少が顕著となり、その在り方を模索する中で首都圏での開催が地域の NGO、特に中小規模 NGO の参加の大きな妨げになっていることが明らかになった。こうした状況を受けて、コンセプトを引き継ぎながら地域での研修機会の拡充を図るため、2015 年度より3.「地域提案型 NGO 組織力アップ！研修（旧称・NGO 人材育成研修 地域 NGO 提案型研修）」と一本化した。

2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
27 人	25 人	20 人	31 人	21 人	15 人	6 人	(中止)

以上